

# 偉人功績 英字紙で探る

## 成和中 苦戦しながら読み解く



NIE(教育に新聞を)「ごと」に話し合った。実践指定校の福井市成和中で19日、英語の公開授業が行われた。英字新聞を活用し、ノーベル平和賞を受賞した人や団体について情報を読み解き、そこから学べることを班

「ついで班」ごと話し合っ  
て考えをまとめ、「平和な世界のために自分自身で行動することが大切」  
「困っている人を助けることが大事」などが挙がった。橋本若菜さんは「英字新聞を読むのは大変だったけれど、班で楽しく学べた」と話していた。  
(藤田有美)



英字新聞を読み、ノーベル平和賞受賞者について学ぶ生徒＝19日、福井市成和中

授業に取り組んだのは3年1組の31人。同校の外国語指導助手(ALT)が、英字新聞を基に中学3年レベルの英語で編集した「SEIWA TIMES」を使った。班ごとにマザー・テレサやオマバ前米大統領ら過去の受賞者5人と、今年受賞した非政府組織(NGO)「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)について「どんな活動をしたのか」「なぜ受賞できたのか」を記事から読み取った。

生徒たちは慣れない英文記事に苦戦しながら、班ごとに協力して必要な情報を見つけ出した。オバマ氏について調べた班は、受賞理由について「核兵器のない世界にしようとしたから」「戦争をやめるよう他国に語り掛けたから」など英語で発表した。また偉人たちから「自分たちが学べること」に